

下関市立大学大学院の求める教員像

令和3年3月18日
学 長 裁 定

下関市立大学大学院（以下「本学大学院」という。）は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の発展に寄与することを目的としている。本学大学院は、この目的を達成するために、広い視野に立って専攻分野に関する専門的学術を教育研究し学術文化の進展に寄与し、また、社会的な場でその高度な専門的知識を活用し得る指導的人材を養成する

本学大学院は、地域住民のみならず、日本国民並びに世界中の人々から支持される大学院教育を推進するために以下のような教員像を求める。

（高い倫理観）

1. 大学人として高い倫理観を有し、常に学術文化の振興に邁進するとともに、大学の運営において自らの使命を自覚し、多様性を認め合い協働しながら意欲的にその発展に貢献する教員

（高度な教育力）

2. 社会の発展と人類の幸福に貢献し得る高度専門職業人を育成するために高度な教育力を発揮し、常に教育方法の改善に努め、教育者としての資質向上を志向する教員

（高度で先端的な研究実績）

3. 高度な教育力を獲得するために、先端的な研究に努めることによって優れた研究実績を積むとともに、常に未踏領域に向けた創造的な研究を希求する教員

（国内外に向けた高い発信能力）

4. 教育成果、研究成果を国内外に向けて多言語で積極的に発信し、高等教育機関並びに専門研究機関としての存在意義を高めることができる教員

（外部環境変化への柔軟な対応力と貢献力）

5. 社会経済情勢、技術進歩、グローバル化等、大学院教育を取り巻く外部環境の変化に柔軟に対応しながら、教育研究を実践するとともに、その成果を社会に還元すべく専心努力する教員